

No.53

熊 広 報

平成 27 年 10 月 15 日
熊地区広報発行委員会
発行責任者
地区長 竹中 兼利
公民館長 三浦喜代次

敬老会開催

地区長 竹中 兼利



竹中地区長の開催の挨拶

9月12日(土)熊地区敬老会が開催されました。よい天候に恵まれて開催できたことを心からうれしく思います。来賓として刈谷市長竹中良則様をはじめとして国會議員、社会福祉協議会常務理事、県議會議員、民生児童委員、老壮会長様等のご臨席により会に華をそえていただき感謝申し上げます。なお、余興の時に大西議員夫人様、大見正議員様からごあいさつをいただきました。三百八十二名の敬老会員のうち百三十二名の方が二階の会場で一階では四十名余の方が式典に参加されました。

式典の終わりには会
員を代表して三浦美
枝子様が心のこもった
謝辞を述べられました。

今年の余興は、まずマジックショーが神谷智子様によつて華麗に展開されました。続いて婦人会の皆様による手遊びや歌「あんたがたどこさ」そして民謡愛好会の皆様による踊り「島田のブンブン」「長崎の雨」「この世は女で廻るのよ」が艶麗な舞台を繰り広げられました。最後に子ども会の有志による手遊び「後出しじゃんけん」と歌「さんぽ」他一曲で幕を閉じました。短い時間でしたが、最後まで楽しい時間を過ごすことができ、みなさんは笑顔で帰られました。

敬老会員皆さんの今後ますますの、ご健勝と長寿万歳をお祈り申し上げます。



市長からお祝い品の贈呈

敬老会お祝いのことば

刈谷市長 竹中 良則

本日は、熊地区の皆様が長寿を祝福し、敬老会を開催されるにあたり、一言お祝いを申し上げます。

熊地区の皆様には、日頃から本市の福祉行政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。どうぞございます。



竹中市長のお祝いの挨拶

本日、お祝いを受けられま
す皆様
方は、長年にわたり様々な分野で活躍され、今ある郷土の繁栄と活力ある社会をお築きになられました。ここに、改めて敬意を表するとともに、ご長寿を心からお祝い申し上げます。

我が国の平均寿命は、男性が八十・五〇歳、女性八十六・八三歳となり、世界で最も長寿の国でございます。

また、本市において、今年の敬老会でお祝いを受けられる七十五歳以上の方は一万二千七百七十九名、数えて百歳以上の方が九十三名おみえになり、市内最高齢の方は今年で百七歳を迎えられております。

このように多くの皆様がいきいきと

元気で過ごしていただき、ご長寿を喜びあえることを、大変嬉しく思っています。

さて、今年は、昭和二十五年四月一日に市制を施行して六十五周年を迎えます。五月二日には、中央児童館を夢と学びの科学体験館としてリニューアルオープンすることができました。子どもから大人まで楽しめるサイエンスショーや、最新型ハイブリッドプラネタリウムによる投影などをお楽しみいただけますので、是非、お孫さんと一緒に、またお友達同士で、お出かけいただきたいと思います。

科学の発展が著しい今日ですが日々の営みや生活に、先人の知恵が息づいております。皆様には、今後も私たちの先輩としてお力添えいただきたく、そのために、安心してお元気で暮らしていただけるようなまちづくりを、よりいっそう推進してまいります。

最後になりますが、本日お集まりいただきました皆様方の益々のご健康とご多幸を心から祈念いたしまして、お祝いのことばとさせていただきます。



余興 新舞踊

敬老インタビュー

三浦美枝子さん(八幡町)



いつまでもお元気で

今後の健康長寿をお祈り申し上げます。(公民館広報 前田 篤)

「自分では八十八歳と思っていない、若い人達と踊っているためか元気を貰い、踊りは元気の秘訣! 舞踊は生活の一部としていつまでも続けていきたい」とのことです。

最後に「米寿を迎えられた感想」をお聞きました。

「足元が悪い中、多くの皆さまの参加をいただき、ある男性は「70歳にして初めて盆踊りの輪の中に加わり、時を忘れ踊りました」とか。

7月18・19日の両日、熊野公園にて夏祭りを開催いたしました。

台風の接近により雨の中での、やぐらの組み立てやグラウンドの整備・テント張りなど、天候を気にしながら準備を進めてまいりました。当日は雨もあがり、子ども会のお楽しみコーナー・バルーンアート・グラウンドゴルフなど子供達でワイワイガヤガヤ賑わうなか盆踊りが始まりました。

盆踊りの輪の中に加わり、時を忘れ踊りました」とか。

幼児が踊りの輪の中を走り廻り、その後をカメラを持って追っかける母親や、中学生も「しんちゃん音頭」では「ソレソレ」と掛け声とともに手や腰を振るなど、大変な盛り上がりを見せた盆踊りとなりました。

飲料水(特にビール)の消費は驚くほどの量でした。

最後になりましたが公園近くの方々のご理解と、商店・企業の皆さまから寄せられたご厚志、そして各団体のご協力、ご支援に深く感謝とお礼を申し上げます。



熊地区夏祭りをおえて

熊公民館長 三浦 喜代次

万燈製作にあたって

熊・竹燈りの会 代表 井上 直之

昨年引続き、今年も有志により、中万燈を新作いたしました。

題名は有名な狂言の一場面である

「青公家と梅王丸」に挑戦。

今年より製作グループ名を「熊・竹燈り(くま・たけあかり)の会」と名付け(二十二名)、四月上旬より毎週月・火曜日を定例活動日として、伝統技術を学びながら、和やかな雰囲気の中で完成し、感慨もひとしおです。支援いただいた織機さんにも、感謝申し上げます。



今年も立派な万燈をつくるぞ



完成した青公家と梅王丸

「地震、雷、火事親父」

自主防災会副会長 近藤 輝和

「なまずがあばれると地震が起きるだよ。」雷さんにへそをとられるぞ。「マツチ一本火事のもと。」……少し前まで、自然と私たちの関係は穏かで、親近感をもっていたように思います。

雨も風も、春雨、五月雨、そよ風、東雨(こち)などと四季折々に名をつけ、親しみの心をこめて、よんできました。

しかし、近年、集中豪雨、突風などがしばしば起き、私たちの生活や命をおびやかしています。

今、私たちは自然を敬う気持ちを大切にしながら、命を守る行動をとっていかなければなりません。自分の命を守りながら、隣近所の人たちの命を守るための避難訓練を今年も行います。

*避難訓練実施日

・宝町 十月三十一日(土)
・八幡町 十一月二十二日(日)
大勢の方の参加をお願いします。



防災について学ぶ皆さん



楽しかった夏祭り

二年 大しろ そうた

七月十八日、十九日にくま夏まつりがありました。

一日目のゲームと二日目のゲームがちがついて、いろんなゲームができて楽しかったです。一ばん楽しかったのは、ヨーヨーです。二日もとれました。たいこもじょうずにたたけたので、うれしかったです。みんなといっしょにたいこをたたいたので、すごく楽しかったです。



ゲーム楽しかった！

すもう大会がんばったよ

三年 島口 加帆

わたしはすもうたい会をしました。一回目と二回目をかちました。三回目はまけちゃいました。でも二回勝つてよかったと思いました。くま子どもかいはまけちゃったけど楽しかったです。来年はかちたいと思いました。たいせんした人が三回目のときはつよくてびつくりしました。でもじぶんのちからをだせてよかったと思いました。



ハッケヨイ 残った

万 燈 祭

六年 永瀬 ひより

私は今年、初めて町内引きと全町引きにも参加しました。

お兄さんお姉さん達や地域の方、豊田自動織機の人達がとても盛り上げてくれて、本当に楽しかったです。夜になって万燈に明かりがついて、ますます盛り上がり上がつて、太鼓の音も笛の音も心にひびきました。こんな素敵なお祭りに参加することができて幸せだなと思いました。



可愛い子ども万燈

今回、たくさんのおかげで私は万燈祭を楽しむことができました。今年してもらった、たくさんのお忘れずに、来年の万燈祭も楽しみたいです。

めざせ「くらはし」 ラジオたいそう

一年 ささきみはる

わたしは、ラジオ体操そうへまにちいこうとがんばりました。

なぜかというところからはのおかしけんが二まいもからえるときいたからです。あさおきるのはいへんだったけだいたいそうをしたらげんきになってかえりました。さいごまでがんばつて、くらはしにいきました。そのおかしはサイコーでした。



朝から元気

第二回「熊っ子わくわく塾」

塾長 三浦 洋治

今年も楽しく開催することが出来、責任を果たしホッとしました。

磯村先生の地理のお話では、新旧の地図の比較によって熊地区の変貌の様子が分かりましたね。また、昆虫の標本から昔は自然が一杯だったこともわかりましたね。熊地区も新しい家が増えて私が子供のころの自然もなくなりました。皆さんは今の自然を大切にしてください。

藤田先生、なでしこ会皆さんによる紙工作も楽しかったですね。皆さんの理解の良さには感心しました。この素晴らしい感性を何時までも持ち続けて下さい。歴史の話が中途半端で終わりましたが、お渡しした資料で勉強して下さい。



お城の近くにあった熊村は歴史に溢れています。お侍さんの子孫の方が多く住んでみえます。高津波・小山地区には縄文時代の貝塚・遺跡もあります。家族の皆さんでお話して下さい。少しづつで良いですから熊地区の歴史に興味を持って下さい。熊地区には素晴らしい知識や物づくりの技術を持った方が多くみえます。いろんな方に講師をお願いしていきたいと思っています。次回も楽しみにして下さい。

多くの皆様のご協力を頂き、感謝しています。有難うございました。

○熊地区のお地藏さん

熊郷土史研究会 竹中兼利

八月二十四日(旧暦七月二十四日)に地藏盆を行っています。お地藏さんを祀る地域の人が地藏講を作っており、この日にはお地藏さんのお掃除やお飾りをしてお参りに来た子供たちにお菓子を振舞います。

お地藏さんといえば賽の川原の話が出てきますが、その賽の川原は仏典には載っていないそうです。賽の川原の賽は「塞の神(道祖神)の「塞」のこと」です。地藏菩薩は釈迦入滅から次の弥勒菩薩が現れるまで六道(天人・人間・畜生・餓鬼・阿修羅・地獄)に輪廻する一切衆生を、天上から地獄まで済度してから成仏しようと誓われた菩薩様です。特に子どもをお守りになる仏様です。

亡くなった人の追善供養とか村境に道案内とかの趣旨で立てられたものが多くあります。

刈谷市にはお地藏さんが百六十五ヶ所にあるといわれています。熊地区には七ヶ所、高津波には七ヶ所、小山には十ヶ所あるそうです。

なお安養寺前の細道の奥にある石仏は阿弥陀如来さんです。それぞれのお地藏さんにはいわれや御利益があるようです。いろいろなお話が聞けるとありがたいです。



老壮会だより

老壮会 会長 村井 修治

第三回老壮会ボーリング大会開催

八月二十五日(火)名古屋グランドボウルで参加者十八名(男子十一名、女子七名)で、和気あいあい、スベア・ストライクの歓声、ハイタッチで楽しいひと時を過ごしました。

総合優勝 三浦市太郎さん

・男女別 優勝 男子 三浦市太郎さん
女子 中島尚美 さん

来年はもっと多くの参加者が集まるように名称を「ボーリングを楽しむ会」として、点数の低い人にも参加してよかった、毎年参加したいと言われる様に、さらに楽しめる工夫をしたいと思っています。

★お知らせ

・十月～十二月の老壮会行事(抜粋)

一、秋の歩け歩け大会(市老連)

・実施日 十月十四日(水)

・会場 フローラルガーデンよさみ周辺

二、老壮会親睦一泊バス旅行

・実施日 十月二十六日～二十七日

・行先 信州・奥蓼科の紅葉と横谷温泉

三、老人クラブカラオケ発表会

(市老連)

・実施日 十二月十日(木)

・場所 社会教育センターホール

四、老壮会忘年会

・実施日 十二月十九日(土)

・場所 熊市民館 集会室

熊野神社だより

氏子総代会会長 鈴木 眞二

空は深く澄み渡り、さわやかな季節になりました。

秋の大祭にあたり、氏子の皆様、企業、商店の皆様方から大祭奉賛金のご寄進をいただきとともに、色々なご奉仕をいただき、誠にありがとうございました。

氏子総代はこれらをもとに、安心、安全な楽しいお祭りになるよう努めます。なお大祭の計画は左記のとおりです。多くの方々の、ご参拝をお待ちしています。

▽大祭開催日 十月十一日(日)

▽主な行事

・煙火打ち上げ 七時・里神楽 九時

・神輿町内巡回 十時・式典 十時

・厄年厄払い式 十二時三十分

・餅投げ 十五時

・団子売り・バルーンアートがあります

本年五月に総代、総代OBのご協力で、本殿前の参道の改良工事を無事終え、綺麗な参道に生まれ変わりました、是非十月の大祭にお越しいただき、ご覧いただければ幸いです。



本堂前参道改良工事風景

熊でし会 三浦 昌子

九月に入り気が付けば蝉の声は止み、秋の気配を感じるようになりました。

なごやかサロンでは刈谷市赤十字奉仕団の方々をお迎えして高齢者の皆様に防災のお話や避難所での少しでも心地好い過ごし方等を指導して頂きました。

毛布と紐一本を活用すれば着物を羽織るように温かく動き易い事や、レジ袋とタオルがあれば少量のお湯でホットタオルが作れる事を教えて頂きました。

実践する事で防災に対する意識は深まり、いざという時に必ず役に立つと思いました。

アルファーマは非常食とは思えない程美味しかったです。

身を守る為、真剣にお話を聞き積極的に取り組み、緊張感の中にもワイワイ楽しい防災会となりました。

婦人会からのお知らせ

婦人会広報担当 神谷 佳子

★六月～七月にかけて、民謡愛好会様のご指導を頂き、新曲を含め十曲盆踊りの練習を行いました。

★夏祭り二日間、着慣れない浴衣姿にて、太虎連の響きに合わせ皆様と輪になって、楽しく踊ることができました。

★刈谷市民盆踊り大会では、熊老壮会、民謡愛好会、刈谷市婦人会の皆様始め沢山の方々と共に楽しく踊り、又櫓の上で刈谷音頭を踊らせて頂きました。

★敬老会では、『上を向いて歩こう』の手話を交えた歌や『あんたがたどこさ』の手遊びを楽しみました。



晴れやかに楽しく踊りました

刈谷市消防団第四分団より

分団長 奥村 直哉

はじめに、消防団活動に地区の皆様の大なるご理解とご支援に對しまして、厚く御礼申し上げます。

一部の方はご存知でしょうが、六月十四日刈谷市総合運動公園にて行われた、消防操法大会で入賞することが出来ました。仕事や学校等忙しい中、朝早くから少人数でも分団一丸となつて練習に取り組んだ成果が発揮出来て、何よりです。

その後七月十八日・十九日熊地区盆踊りの警備。地区外ですが、二十四日に火災があり消火活動等を行いました。今後も防火・防災に努めてまいります。

最後に今現在消防団員が大変少なく、活動を行う際に、非常に大変な思いをしております。お知り合い等に少しでも地区のお役に立ちたいという方がおられましたら是非ご紹介していただけたら大変助かります。いつでも募集中ですので協力お願いいたします。